

ハートがたくさんある村づくり

差別のない、人への思いやりを大切にする、明るい南阿蘇村をつくりましょう。

人権とはなんですか？

人権とは「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っている権利」であって、だれにとっても大切なもの、日常の思いやりの心によって守られなければならないものです。今回も、「人権」と「権利」についてお伝えします。

私たちの生活を支えている「人権」と「権利」

どうして「人権」が必要なのか？

「人権」という特別な権利がなぜ必要か、ということを考えてみましょう。

私たちが暮らす社会には、色々な権力関係があります。警察と一般の市民。会社の経営者と被雇用者。学校の先生と生徒の間にも力関係がありますね。

権力は、どのような社会においても、必ず生まれます。秩序をつくるために権力が必要なことも少なくありません。警察がいなければ、強盗や泥棒から身を守るの大変です！

でも、権力はよく乱用されません。「権力は絶対に腐敗する。絶対的な権力は絶対に腐敗する。」という格言もあります。何も策を講じなければ、弱い側はしいたげられる一方になりかねません。そこで、権力関係の中でも人間の尊厳が守れるように、弱い側が「人権」という概念を生み出しました。

人権は、普通の権利よりもずっと重要です。例えば、お金を期限付きで誰かに貸したとしましょう。期限が来れば、返してもらおう権利が生まれます。土地を担保にしていれば、代わりに手に入れることができます。

でも、借りた人自身を担保にして、返してもらえないときはその人を手に入れる、ということにはできません。「奴隷」になつたら人間らしく生きることができないので、「奴隷にならない権利」は人権とされているからです。

このように、人が尊厳をもって生きるために社会が保障しなくてはならない条件に、人権という「特別な権利」とすることで、簡単に奪われないようになったのです。

人権を「当たり前」に守ることができる社会とは？

人間が尊厳を持って生きるために必要なことを、特別な権利にし、簡単に奪われないようにしたはずなのに、世界では現実には人権が奪われている人は少なくありません。なぜなのでしょう？

それは、権利を守るためには、それなりの仕組み(制度)が必要だからです。私たちは、日常生活を送る上で、権利を奪われるという事は滅多にないので意識しませんが、権利を守るためにはさまざまな制度が必要です。たとえば、ちゃんと法律にのっとって裁判が行われること。権利が侵害された場合に、訴えることができること。自分たち

の持っている権利が何か知ることができると、などです。特に重要なのは、社会が法律などの基準に基づいて公正に運営されていることです。このような社会の運営の仕方を「法の支配」と言いますが、法の支配がない社会では、権利を守ることはできません。

たとえば、偉い人なら悪いことをしても罰を受けない社会なら、権利は守れません。権利が守られない社会では人権も守られないのです。

どんな宗教にも、人間の大切さ、平等に関する表現があります。たとえば、「万人は、木の葉のように平等(イスラム教)」、「人類に階級差などない。全世界は神に源を持つ」(ヒンドゥー教)などの言葉があります。仏教もキリスト教も人権と平等の尊さを説いています。

しかし残念なことに、それはなかなか実現しません。今でも、人権を完全に実現することは簡単ではありません。ただ、「権利」という枠組みが基礎となつている社会、すなわち法の支配の実現されている社会の中で、人間が人間らしく生きるための条件も「権利」とすることで、それなりに人権を守ることができるようになるのです。

村民みんなで「ハートがたくさんある村」をつくりましょう。